

## アンダーセーリング(帆走中)のボートハンドリング (Handling The Sailboat Under Sail.)

ここに示される内容は、セーリングボートの本来の特性をもとにベーシックな操作を説明した一般論である。

少人数で安全にハンドリングできることを目的としているので、けっしてレースに即応できるようなレスポンスの高いものではないかも知れないが、基本ができればチームプレーもそのパフォーマンスが上がるはずである。

まず理論を知ろう。そして実践できるようになろう。

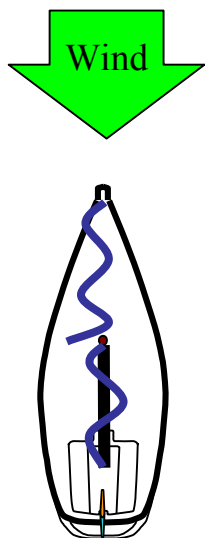
海の上で、そしてヨットの上では、パートタイマーは無用でしかない。全員がエキスパートであるべきであり、エキスパートがチームを組んでそして各人がパートを担当することで、最初のレーサーが実現する。

セーリングボートは、風さえあれば走り始めることができる。

走り始めたら、方向変換(カミング・アバウト、ジャイビング)で目的の地点へ到達することができる。

ただしその中で、MOB対処法はすべてのメンバーが理解していなければならない。

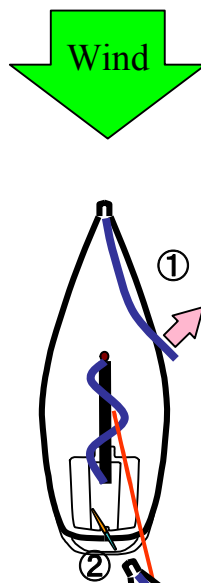
### イン・アイアンとイン・アイアンからの脱出



#### イン・アイアン

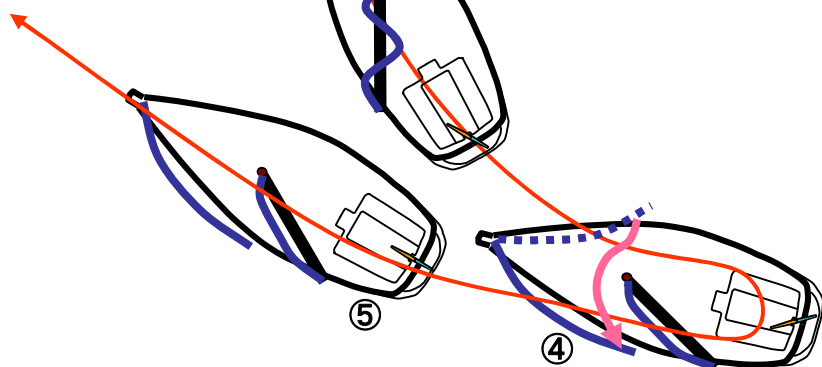
イン・アイアンとは、セーリング中に風に対して船が正対(風の来る方向にバウが向いている)し、セールがフロッギング(シバーともいう)を起こし、風による推進力を作ることができない状態。この状態では船は水上で完全に停止、ノーウェイとなる。ラダーには航行による水流が作用しないので、船はコントロール不能となる。

イン・アイアンはどちらのタックでもない。この状態は、ポイント・オブ・セールの範疇には入らない。



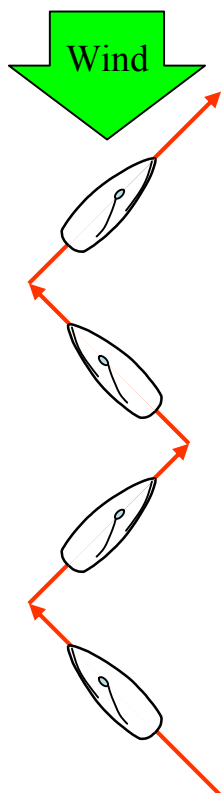
#### イン・アイアンからの脱出

- ①フォアセールのクルーを手でつかみ、風を受けるように突き出して、ジブセールの裏風を入れ、後進の力を受けるように維持する。メインシートは緩めておく。
- ②ラダーはバックウインドが入っているサイドと同じ方向へ切っておく。
- ③図のような場合は、バウはポート側の方向へ動き、スターボードタック方向へイン・アイアンから脱出できる。
- ④フォアセールの突き出しを止め、風下舷へシートを引き込むと同時にメインシートをつめる。
- ⑤ラダーをセンターへ戻し、セールが前進のパワーを引き出すの持つ。



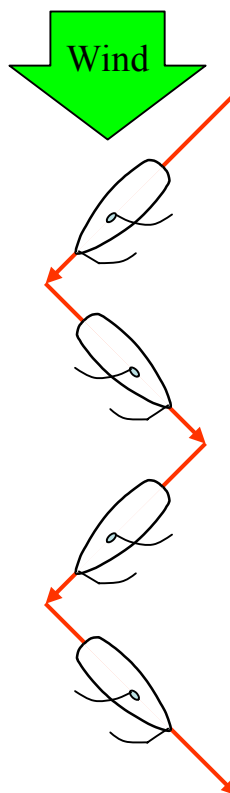
セーリング中にタックを変更することを「タッキング」。

アップウインドでのタッキングは「カミングアバウト」、ダウンウインドでのタッキングは「ジャイビング」と表現される。

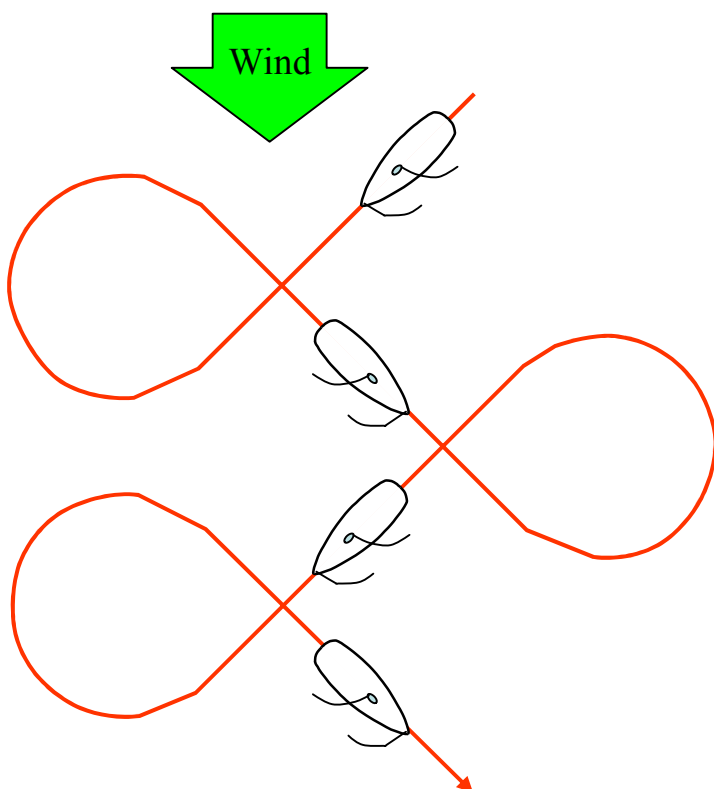


**カミングアバウト**  
**Coming About**  
 クロスホールドからノーセールゾーンを通して反対舷のタックのクロスホールドに進路を変更すること。

このカミングアバウトをタッキングと表現する慣習も残っている。



**ジャイビング**  
**Gybing**  
 ブロードリーチからランニングダウンウインドチャンネルを通して反対舷のタックのブロードリーチに進路を変更すること。



**チキンジャイブ**  
**Chicken Gybe**  
 荒天時、あるいはシングルハンドなどの状況で、ブロードリーチからヘッドアップし、ノーセールゾーンを通してタックを変更、反対舷のブロードリーチにすること。

これは、追い波を真後ろから受ける状態がないためブローチングの可能性が小さくなり、さらには、ブームを入れ替えるジャイビングの操作もないため船体やメンバーに対するダメージの可能性も低くなる。